

2013.7.29(月)

13:30~17:30

児島惟謙館1階第1会議室

東アジア宗教儀礼研究班

仏像・絵画の伝播と変容 13:30~14:30

藤原崇人 「梅檀瑞像の遷転と

10~14世紀東部ユーラシアの王権」

原田正俊 「室町時代における夢窓派の伝法観と袈裟・頂相」

長谷洋一 「島根・清水寺摩多羅神像について」

経典と法会 14:50~15:50

西本昌弘 「唐代貞元年間の訳経事業と空海の一切経書写」

上川通夫 「藤原道長金峰山経塚の成立背景」

山田明広 「現代台湾の鬼月における無縁仏救済儀礼について  
—道教の中元普度法会と仏教の盂蘭盆会の比較—」

王権と仏教 16:10~17:10

佐藤健太郎 「『続日本後紀』掲載僧伝について」

中田美絵 「沙陀政権と仏教—後唐建国までを中心に—」

中井裕子 「後醍醐天皇による勅願寺認定について」